

オオツツラフジ

【 *Sinomenium acutum* 】

科名 ツツラフジ科

属名 ツツラフジ属

薬効・用途

蔓・根茎（防己 ボウイ）は、消炎、鎮痛、利尿などに、民間では根茎を煎じて神経痛などに用いられる。丈夫な蔓（つる）は籠（かご）や衣服を入れる葛籠（つづら）を編むのに利用された。疎経活血湯、防己黄耆湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：6～7月

備考

落葉蔓性木本。本州の関東地方以西、四国、九州、南西諸島、台湾、中国に分布する。蔓で籠を編み、葛籠を作ることからツツラの名となり、類似植物のアオツツラフジより葉も大きく、蔓も太いのでオオツツラフジの名が付いた。雌雄異株。